



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月9日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東
コード番号 3550 URL <https://www.studioatao.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 瀬尾 訓弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部（氏名） 山口 敬之（TEL）03-6226-2772
ゼネラルマネージャー
半期報告書提出予定日 2024年10月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	1,603	10.5	85	72.7	86	80.5	43	66.7
2024年2月期中間期	1,451	—	49	—	47	—	26	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期中間期	3.15		—					
2024年2月期中間期	1.87		—					

（注）当社は、2023年2月期中間期は連結業績を開示しておりましたが、2024年2月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2024年2月期中間期の対前年同中間期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年2月期中間期	百万円 3,243	百万円 2,476	% 76.3
2024年2月期	3,540	2,499	70.6

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 2,476百万円 2024年2月期 2,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2025年2月期	—	0.00			
2025年2月期（予想）			—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	8.0	150	21.3	150	22.1	70	37.8	5.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	14,037,000株	2024年2月期	14,037,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	194,796株	2024年2月期	186,796株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	13,838,606株	2024年2月期中間期	13,975,181株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
中間連結会計期間	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、インバウンドを含む人流の回復等に伴い経済活動の正常化への動きが見られ、個人消費は持ち直しが進む一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化に伴う世界的な物価上昇、円安の進行など依然として先行きは不透明な状態が続いております。

このような環境の中、当社は、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行うと共に、ATAO18周年記念プロジェクトとして未来のためにアートで残す「ZOO」シリーズやライフスタイルの変化に対応した機能が満載のビジネスリュック「SOU」を投入するなど、商品ラインナップの拡充を図っております。また、2022年8月にグランドオープンした当社ブランドのオンラインサイトが集積したモール型の新ECサイト「ATAOLAND+（アタオランドプラス）」に係るプロモーション等を継続し、店舗とECのOMOの推進や当社が展開する各ブランド価値の更なる向上、顧客サービスの強化等を図っております。

ILEMERにつきましては、ドール関連を中心に商品ラインナップを拡充すると共に、サンリオキャラクターズコロボなどのキャンペーンを行い、認知度向上を図る施策を行っており、今後のライセンスビジネスへの布石を打っております。

その結果、当中間会計期間の販売業態別の売上高は、2023年9月に出店したATAO博多店の貢献等により店舗販売が873,830千円(前年同期比5.1%増)となり、また、2023年10月に出店したATAO楽天市場支店の貢献等によりインターネット販売が726,133千円(同19.5%増)となりました。

以上により、当中間会計期間の業績は、売上高が1,603,282千円(前年同期比10.5%増)となり、売上高の増加及びATAOLAND+に係る販売促進費の継続的な投資を行ったものの販売促進費率が改善したこと等により、営業利益85,360千円(同72.7%増)、経常利益86,292千円(同80.5%増)、中間純利益43,621千円(同66.7%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産については、総資産は3,243,691千円であり、前事業年度末と比較して296,657千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が297,547千円減少したことであり、

負債につきましては、負債合計は767,235千円であり、前事業年度末と比較して273,147千円減少しております。主な減少要因は、長期借入金が119,166千円減少したことであり、

純資産は2,476,456千円であり、前事業年度末と比較して23,509千円減少しております。主な減少要因は、利益剰余金が25,629千円減少したことであり、

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、1,623,265千円となり前会計期間末より297,547千円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは43,297千円(前年同中間期は69,889千円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益86,292千円の計上による資金の増加があった一方、未払金の減少額107,086千円による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは5,750千円(前年同中間期比は1,949千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,717千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは248,498千円(前年同中間期比は50,881千円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出179,166千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想から変更点はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,920,812	1,623,265
売掛金	195,056	244,032
商品	641,959	629,102
その他	90,883	94,129
流動資産合計	2,848,711	2,590,530
固定資産		
有形固定資産	269,608	262,204
無形固定資産	1,342	2,215
投資その他の資産	420,686	388,741
固定資産合計	691,637	653,161
資産合計	3,540,348	3,243,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,488	57,296
1年内返済予定の長期借入金	358,332	298,332
未払法人税等	60,639	45,442
ポイント引当金	1,295	620
その他	308,753	202,596
流動負債合計	768,508	604,287
固定負債		
長期借入金	198,336	79,170
退職給付引当金	27,932	27,302
資産除去債務	45,606	56,474
固定負債合計	271,874	162,947
負債合計	1,040,382	767,235

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,961	398,961
資本剰余金	395,694	396,063
利益剰余金	1,741,167	1,715,538
自己株式	△35,857	△34,106
株主資本合計	2,499,965	2,476,456
純資産合計	2,499,965	2,476,456
負債純資産合計	3,540,348	3,243,691

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,451,086	1,603,282
売上原価	448,852	511,077
売上総利益	1,002,234	1,092,205
販売費及び一般管理費		
販売促進費	302,024	323,950
その他	650,786	682,895
販売費及び一般管理費合計	952,810	1,006,845
営業利益	49,424	85,360
営業外収益		
受取家賃	240	240
法人税等還付加算金	222	—
受取保険金	—	1,115
未払配当金除斥益	37	1,036
その他	13	187
営業外収益合計	512	2,579
営業外費用		
支払利息	2,132	1,577
その他	—	70
営業外費用合計	2,132	1,647
経常利益	47,804	86,292
税引前中間純利益	47,804	86,292
法人税、住民税及び事業税	11,180	38,305
法人税等調整額	10,451	4,365
法人税等合計	21,631	42,670
中間純利益	26,173	43,621

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	47,804	86,292
減価償却費	24,593	23,138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,189	△629
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,611	△674
支払利息	2,132	1,577
売上債権の増減額 (△は増加)	30,230	△48,976
仕入債務の増減額 (△は減少)	△74,853	16,806
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△64,405	12,857
未払金の増減額 (△は減少)	54,176	△107,086
その他の資産の増減額 (△は増加)	29,498	27,421
その他の負債の増減額 (△は減少)	4,239	△387
その他	26	△143
小計	60,245	10,195
利息及び配当金の受取額	10	187
利息の支払額	△2,132	△1,577
法人税等の支払額	△1,048	△52,102
法人税等の還付額	12,814	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,889	△43,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,144	△4,717
無形固定資産の取得による支出	—	△1,066
その他	△1,556	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,700	△5,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△180,606	△179,166
配当金の支払額	△68,965	△69,332
自己株式の取得による支出	△49,809	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,380	△248,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△237,191	△297,547
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,782	1,920,812
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,556,590	1,623,265

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。